

# ヨーロッパ文芸フェスティバル 会場

6th European Literature Festival 2022

DAY 1 11/22 ㊄



**オンライン・ライブ配信!**

視聴方法については公式サイトをご覧ください。

DAY 2 11/23 ㊄㊄


Istituto Italiano di Cultura  
**イタリア文化会館**



東京都千代田区九段南2-1-30  
東京メトロ東西線・半蔵門線/都営新宿線「九段下」駅(出口2)より徒歩10分

DAY 3 11/24 ㊄

Czech Centre Tokyo  
**チェコセンター東京**



東京都渋谷区広尾2-16-14(チェコ共和国大使館内)  
東京メトロ日比谷線「広尾」駅より徒歩10分  
JR山手線/東京メトロ日比谷線「恵比寿」駅より徒歩15分  
※恵比寿駅、渋谷駅よりバス「日赤医療センター前」下車徒歩5分

DAY 4 11/25 ㊄ DAY 6 11/27 ㊄

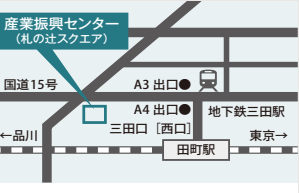
Instituto Cervantes de Tokio  
**インスティトゥート・セルバンテス東京**



東京都千代田区六番町2-9セルバンテスビル  
東京メトロ有楽町線「麹町」駅(出口5,6)より徒歩3分  
JR/東京メトロ有楽町線・南北線/都営新宿線「市ヶ谷」駅より徒歩6分  
JR/東京メトロ丸ノ内線・南北線「四ツ谷」駅麹町出口より徒歩7分

DAY 5 11/26 ㊄

Minato Ward Industrial Promotion Center  
**港区立産業振興センター**  
11階 小ホール



東京都港区芝5-36-4札の辻スクエア11階  
JR/「田町」駅三田口(西口)より徒歩4分  
都営地下鉄「三田」駅(A3出口)より徒歩4分又はA4出口より徒歩3分  
バス/ちばす芝ルート・田町ルート(田町駅東口)「田町」駅西口より徒歩3分  
※都営交通「田町駅」下車徒歩4分

DAY 5 11/26 ㊄

Aoyama Book Center Tokyo  
**青山ブックセンター本店**



東京都渋谷区神宮前5-53-67コスモス青山ガーデンフロア(B2F)  
東京メトロ「表参道」駅(B2出口)より徒歩7分  
JR「渋谷」駅(東口/宮益坂側)より徒歩13分



参加無料・要事前申し込み プログラム詳細/お申し込みはこちら

**eulitfest.jp**



お問い合わせ: 駐日欧州連合代表部 Tel. 03-5422-6001(代) [www.facebook.com/eulitfestjp](https://www.facebook.com/eulitfestjp) @eulitfestjp eulitfestjp

主催 駐日欧州連合(EU)代表部・在日EU加盟国大使館・EUNIC Japan(在日EU加盟国文化機関)・港区立三田図書館



6th European Literature Festival  
**ヨーロッパ文芸フェスティバル**  
22-27 NOV. 2022

参加無料・要事前申し込み

**EUROPEAN LITERATURE FESTIVAL**



参加登録および詳細はこちら **eulitfest.jp**

[www.facebook.com/eulitfestjp](https://www.facebook.com/eulitfestjp) @eulitfestjp eulitfestjp

主催 駐日欧州連合(EU)代表部・在日EU加盟国大使館・EUNIC Japan(在日EU加盟国文化機関)・港区立三田図書館



6th European Literature Festival

# ヨーロッパ文芸フェスティバル

## 22-27 NOV. 2022 参加無料・要事前申し込み

第6回となるヨーロッパ文芸フェスティバル。昨年、一昨年はオンライン開催でしたが、今年は久しぶりに対面イベントも戻ってきます(一部オンラインまたはハイブリッド形式あり)。100周年を記念する重要作家や作品が多いこの年に、ヨーロッパ文学の歴史と現在を振り返り、未来に思いを馳せるきっかけとなる多くのイベントが揃いました。

※セッション毎に事前申し込みが必要です。登壇者はすべて敬称略。スケジュールは変更する場合がございます。最新の情報は公式サイトをご覧ください。

**11月22日 開会・オープニングイベント**  
本イベントは主としてYouTubeなどのライブ配信と予定。詳しくは公式サイトをご覧ください

**1-1 17:30~18:30** ※日本語・英語同時通訳 **トークイベント**

### 対談：ルトガー・ブレグマン & 齋藤幸平

我々はいかにして政治への信頼を回復し、資本主義社会の中で民主主義を守ってゆくのか。我々の社会に蔓延しつつあるシニシズムにどう立ち向かうのか。世界が注目する新世代の思想家—ルトガー・ブレグマン(『Humankind 希望の歴史』)と齋藤幸平(『人新世の「資本論」』)が語り合う。



モデレーター ジャン＝エリック・パケ(駐日欧州連合大使)  
Moderator: Jean-Eric Paquet (Ambassador of the European Union to Japan)

**11月23日 水・祝 イタリア文化会館**

**2-1 12:30~13:30** ※日本語(通訳なし) **トークイベント**

### ミカ・ワルタリ『エジプト人』の翻訳について

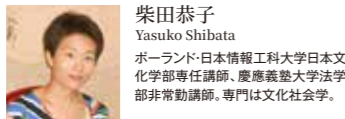
1945年にフィンランドで出版されて以来、多くの人に愛され、41か国語に翻訳されているミカ・ワルタリの歴史小説『エジプト人』。日本語での初の全訳(2023年みずいりブックスより刊行予定)に取り組み訳者が、その作業について語る。



**2-2 14:30~15:30** ※日本語(通訳なし) **トークイベント**

### 『素粒子、象とピエロギと—101語のポーランド—』

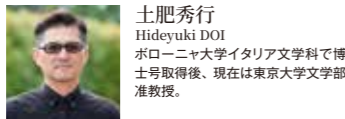
ポーランド語の感覚・世界観をあざやかなイラストと共に発信する話題作の紹介。ポーランドの文化、芸術、思想、人々の日常生活や社会現象を読み解く手がかりとなる101の言葉、ユーモアと愛情とともに描かれる「ポーランド的なもの」を解説する。



**2-3 16:00~17:00** ※イタリア語・日本語(逐次通訳あり) **トークイベント**

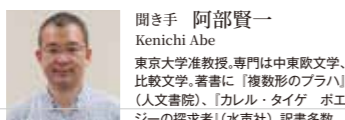
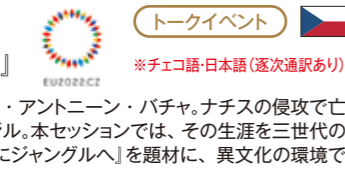
### パゾリーニ：映画と文学の間で

今年生誕100年を迎えた異才ピエル・パオロ・パゾリーニ。映画監督と詩人・作家という2つの顔を持つ彼の仕事について、イタリアと日本の2人の研究者が踏み込んで紐解いていく。



**2-4 17:30~18:30** **小説『バチャとともにジャングルへ』** ※チェコ語・日本語(逐次通訳あり)

チェコの靴メーカー「バチャ」の創始者ヤン・アントニン・バチャ。ナチスの侵攻で亡命を余儀なくされた彼が目指したのはブラジル。本セッションでは、その生涯を三世代の視点を通して描き出した小説『バチャとともにジャングルへ』を題材に、異文化の環境で暮らす人々の文学およびその魅力を語る。



**2-5 19:00~20:00** ※フランス語(日本語への逐次通訳あり) **トークイベント**

### 『ベケット氏の最期の時間』

ノーベル賞作家サミュエル・ベケットが亡くなるまでの半年間を通して、老いと向き合う人間の普遍的な姿を描き出した『ベケット氏の最期の時間』(Le Tiers Temps)の作者が、本作について、ベケットとフランス文学、エグゾフィクションを書くプロセス等について語る。



**3 11月24日 日 チェコセンター東京**

**3-1 15:00~16:00** ※日本語(通訳なし) **トークイベント**

### ブルガリアの昔話の不思議な世界

王様を救うために命の水を探す旅に出る王子の3兄弟の物語『いのちの水』(八百板洋子再話、ベネリン・バルカノフ絵、2022年、福音館書店刊)の朗読のほか、ブルガリアの不思議な昔話について紹介する。

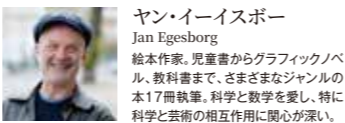


※本イベントは小学校低学年向けの児童文学の紹介です。詳細はブルガリア大使館(03-3465-1021)までお問合せください。

**3-2 16:10~17:10** ※英語・日本語(逐次通訳あり) **トークイベント**

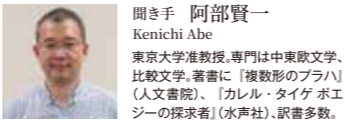
### アートと科学—『フィン・フォトンさんと量子力学』と『失われた夏』

アートと科学を融合させた斬新な児童書の「フィン・フォトン」シリーズ刊行の背景やデンマークでの展開を説明し、また、若者や大人に人気のグラフィックノベルでもアートと科学の相互作用が探求されてきたのかを紹介する。



**3-3 17:40~18:40** **「チェコ語の折り紙からきのこの魔法まで」** ※チェコ語・日本語(逐次通訳あり)

これまでに多くの小説、詩、児童文学作品を執筆してきた作家のマルケータ・ピラートヴァーが、チェコの児童文学の伝統に触れながら、折り紙でコミュニケーションをとる女の子の話や、不思議な魔法の力を持ったきのこのおばあさんの話など、自身の作品について語る。



**3-4 18:50~19:50** ※日本語(通訳なし) **トークイベント**

### 「子供たちに語る—文化の違いを乗り越えてどのように働くか」

人口が少ないにもかかわらず、子供や若者向けの本で国際的に成功した作家を数多く輩出しているスウェーデン。魅力的な児童書とは何か。外国の児童書を日本市場に参入する上でどのような課題があるのか。児童文学や出版の識者に聞く。



**4 11月25日 金 インスティトゥト・セルバンテス東京**

**4-1 17:00~17:50** ※英語(日本語への同時通訳あり) **講演**

### ウクライナでの戦争

現在取材中のウクライナでのロシア侵攻について、ひいては文学や芸術における戦争の解釈についても考察する。グローバルな事象のみならず、紛争の犠牲となる普通の人々の生活にも目を向ける。著書『ドンバス』からの抜粋も朗読する。



**4-2 18:00~18:50** ※英語(日本語への同時通訳あり) **講演**

### 自然、ZEN、西洋芸術(ガウディからビートジェネレーション、近代文学まで)

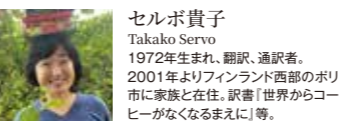
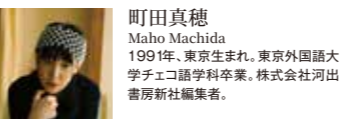
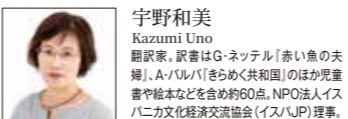
日本において古来より馴染みの深い自然との結びつきは、西洋ではロマン派の芸術家たちによって初めて「発見」され、建築家ガウディや1960年代のカウンターカルチャーにも影響を及ぼした。講演ではこの西洋における新しい自然主義の流れを振り返る。



**4-3 19:00~20:30** ※日本語(英語への同時通訳あり) **パネルディスカッション**

### 旅する文学：日本における翻訳文学のこれから

欧州各国の「外国文学」の第一線で活躍する翻訳家および出版関係者が、日本における翻訳文学の未来について考える。

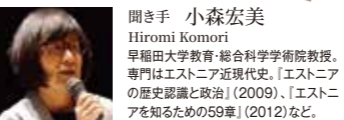


**5 11月26日 日 港区産業振興センター11階 小ホール(札の辻スクエア)**

**5-1 10:00~10:50** ※日本語(通訳なし) **講演**

### 大国主義に抗する小国の歴史—エストニアのパワーの源

エストニアの元首相マルトルラーが執筆した*A Bird's-Eye View of Estonian History*(一目でわかるエストニアの歴史)は6か国語で出版され、エストニアを学ぶ際の不可欠の教科書とされている。その日本語訳を完成させた元駐エストニア大使の北岡元が本作の紹介を通じてエストニアの魅力語る。



**5-2 11:00~11:50** ※日本語(通訳なし) **講演**

### ハンガリー詩人と戦争

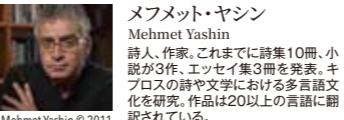
ハンガリーを代表する詩人ベテーフイは19世紀の独立戦争、アディは第1次世界大戦、そしてラノティは第2次世界大戦下のホロコーストに人生を翻弄され、命を落とした。それぞれの時代に生きた3人の詩人と戦争の関わりについて考える。



**5-3 13:30~14:20** ※英語(日本語への同時通訳あり) **講演**

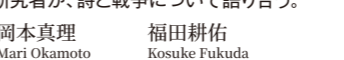
### キプロスの文学：紛争がわかつもの、詩と文学がつなぐもの

紛争と分断により多くの人が文化的アイデンティティに悩み、不完全で分断された意識を抱くキプロスにおいて、詩や文学は「分断された」2つの文学的伝統、言語、文字体系を結びつくる役割を担ってきた。こうした同国の共通体験から詩や小説を生み出した作家が、自作とキプロスの文学的伝統を語る。



**5-4 14:30~15:20** ※英語・日本語同時通訳 **パネルディスカッション**

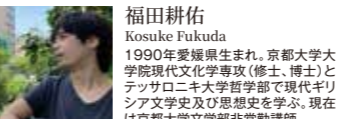
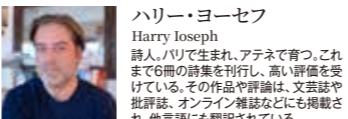
### 詩と戦争 アイランドとキプロスの詩人、そしてハンガリーとギリシャの詩や文学を専門とする日本の研究者が、詩と戦争について語り合う。



**5-5 15:30~16:20** ※英語・日本語同時通訳 **トークイベント**

### The Greek connection：ギリシャと日本の詩の関係

詩人であり翻訳家でもあるハリー・ヨーセフのギリシャ語と日本語による著作物をもとにギリシャにおける俳句の評価に焦点を当て、また、ギリシャと日本の文学的風景、作家、ジャンル間の相互関係やつながりについても解説しつつ、ギリシャと日本の詩が出会う意外で多面的な方法について語り合う。 ※ハリー・ヨーセフはリモート参加、福田耕祐は会場での登壇となります



**5 11月26日 日 青山ブックセンター本店 近刊のヨーロッパ文学の紹介**

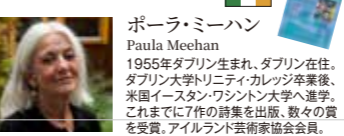
**5-6 18:00~20:40** **トークイベント**

2022年に日本語訳が出版されたヨーロッパ文学の新刊2点について、それぞれの作家を招いて刊行記念トークを行う。

### Part1:「まるで魔法のように ポーラ・ミーハン選詩集」

大野光子・榎本伸明・山田久美子・河口和子・河合利江編訳(思潮社)

初の邦訳詩集が刊行されたポーラ・ミーハント、邦訳に携わった5人の翻訳者が作品について語り、朗読する。



大野光子 Mitsuho Ohno  
愛知淑徳大学名誉教授、文学博士。専門はアイルランド文学・文化。2020年アイルランド大統領功労賞受賞。

榎本伸明 Nobuaki Tochigi  
早稲田大学文学学術院教授。

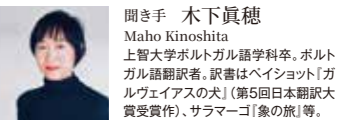
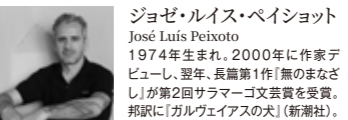
山田久美子 Kumiko Yamada  
愛知淑徳大学非常勤講師。

河口和子 Kazuko Kawaguchi  
愛知淑徳大学非常勤講師。

### Part2:『無のまなざし』

「ガルヴェイアスの犬」が話題となったJ・L・ペイショットの長篇第1作待望の邦訳が出版。弱冠27歳でジョセ・サラマーゴ文芸賞を受賞し、ポルトガル語圏文学の新たな世紀を押し拓いた記念碑的作品である『無のまなざし』から「ガルヴェイアスの犬」への道を語る。

※ポルトガル語・日本語(逐次通訳あり)



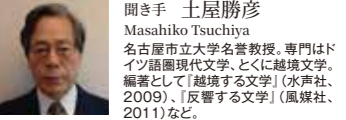
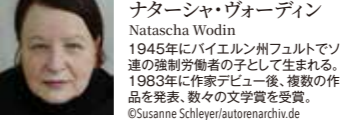
**6 11月27日 日 インスティトゥト・セルバンテス東京**

**6-1 10:00~12:10** ※ドイツ語・日本語同時通訳 **トークイベント**

### Part1: ナターシャ・ヴォーディン

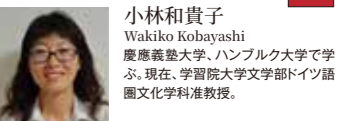
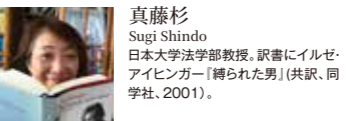
『彼女はマリウポリからやってきた』朗読&トーク

ウクライナとロシアにルーツを持つドイツ語作家N・ヴォーディンが、第2次世界大戦に運命を翻弄された母親の人生を辿る小説『彼女はマリウポリからやってきた』(2017年Rowohit刊、川東雅樹訳、白水社より刊行予定)を朗読、独文学者の土屋勝彦と対談する。



**Part2: それはイルゼ・アイヒンガーから始まった—生誕100周年記念展示に寄せて**

2021年に生誕100年を記念して制作され、コロナ禍のため延期されていたイルゼ・アイヒンガーの生涯を振り返るパネル展示がようやく日本で公開されることを記念して、アイヒンガーの生涯と作品、展示に込めたメッセージを語る。 ※日本語(通訳なし)



**関連イベント 11月30日 日 オーストリア文化フォーラム東京 18:00~**

イルゼ・アイヒンガー生誕100周年企画展「それはイルゼ・アイヒンガーから始まった 終末から終末に向かって語る」&映画「私の住む場所—イルゼ・アイヒンガーのための映画」

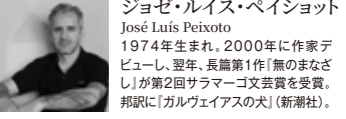
**6-2 13:10~16:00 ヨーロッパ文学の100年** **トークイベント/パフォーマンス**

2022年は、ジョゼ・サラマーゴ(ポルトガル)、ジョナス・メカス(リトアニア)の生誕100周年にあたり、また、ジェームズ・ジョイスの「ユリシーズ」(アイルランド)の出版100周年でもある。これを機に、各国のアーティスト、作家などの識者が登壇し、これらの「ヨーロッパの知の巨人」たちとその作品について語る。

### Part1: ジョゼ・サラマーゴ生誕100周年記念講演

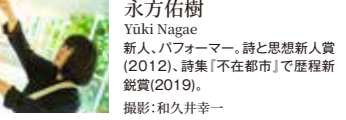
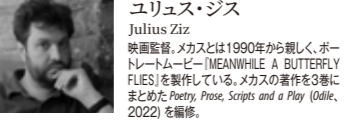
「ジョゼ・サラマーゴ ポルトガル文学の異端児」

ポルトガル語圏唯一のノーベル文学賞作家にして無神論主義者、共産主義者でもあるサラマーゴは、度々ポルトガル国内で議論を巻き起こした。私生活でも親交があり、サラマーゴを登場人物にした小説も著しているペイショットが、その人物と作品について語る。



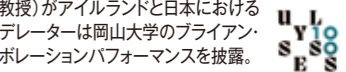
### Part2: ジョナス・メカス生誕100周年記念対談

ジョナス・メカスの生誕100周年を記念し、メカスの映画制作、映画批評、文化企画への多大な貢献および彼の詩や散文作品についての理解を深めるべく企画されたJonas Mekas 100! (jonasmekas100.com)の一環として、メカスの文芸創作をテーマに語り合う。



**Part3: ポーラ・ミーハンと日本に見る「ユリシーズ」刊行100周年**

詩人ポーラ・ミーハンと山田久美子(立教大学名誉教授)がアイルランドと日本における「ユリシーズ」のレガシーと影響について論じる。モデレーターは岡山大学のブライアン・フォックス准教授、トークの後は、朗読と音楽のコラボレーションパフォーマンスを披露。



ポーラ・ミーハン Paula Meehan  
モデレーター ブライアン・フォックス Brian Fox  
詩人。1955年ダブリン生まれ。ダブリン在住。7作の詩集を出版、数々の賞を受賞。アイルランド芸術家協会会員。

山田久美子 Kumiko Yamada  
立教大学名誉教授、イスの寄宿学校在学中に14歳でジェームズ・ジョイスと出会う。アイルランド国立大学ダブリン校博士課程修了(Ph.D.)。

山田久美子 Kumiko Yamada  
立教大学名誉教授、イスの寄宿学校在学中に14歳でジェームズ・ジョイスと出会う。アイルランド国立大学ダブリン校博士課程修了(Ph.D.)。